CURRICULUM 4年間の学びの流れ

カリキュラム

作業療法学専攻

	1年次 医療職としての教養を高める	2年次 リハビリテーション学の基礎を学ぶ	3年次 療法士の専門知識を深める	4年次 療法士としての実践力を身に付ける
	基礎分野の科目を中心に、解剖学や生理学などの基礎医学科目や作業療法の基礎の科目を学びます。夏と冬に臨地見学実習で臨床場面を見学します。	臨床医学科目や作業療法の専門科目を学び、病気や疾患を理解し、障害とともに生活するという視点を身に付けます。	身体・精神・発達・老年期と様々な領域における作業療法の治療技術を学びます。疾患に応じた評価方法を臨床実習で学びます。	臨床現場の作業療法士による指導を受けながら、作業療法の臨床実習を行います。また、国家試験合格に向けた取り組みも行います。
基礎分野 様々な方とコミュニケーションをとるための幅広い教養を修得するとともに、人間性豊かな倫理観と責任感、事象を科学的に捉える能力を培う学びの分野です。	■文章表現法 ■数理科学入門（数学/物理学） ■基礎自然科学（生物学/化学） ■情報リテラシー入門 ■医学英語 ■文学 ■心理学 ■笑い学 ■健康科学入門 ■健康科学 ■ICT（情報技術）入門 ■社会学 ■接遇技術演習 ■英語 ■日常英語	■論文読解法 ■医療統計学 ■教育学 ■こども教育論 ■アクティビティ論II（絵画療法等） ■アクティビティ論III（音楽療法等） ■コミュニケーション論	■アクティビティ論I（動物介在療法等）	
専門基礎分野 人体構造や運動、心理学、社会保障制度などを学び、さらに基礎から臨床医学の知識を修得することで、作業療法の実践的学習に備える学びの分野です。	■解剖学I ■解剖学II ■機能解剖学I ■機能解剖学II ■生理学I ■生理学II ■運動学 ■運動学実習 ■発達心理学 ■ウィメンズヘルス ■臨床心理学 ■病理学 ■精神医学 ■リハビリテーション医学 ■医学概論 ■パラスポーツ入門 ■リハビリテーション概論 ■理学療法概論	■解剖学演習I ■解剖学演習II ■生理学実習 ■人間発達学 ■内科学 ■整形外科学 ■スポーツ医学 ■臨床神経学 ■老年医学 ■社会福祉学 ■チーム医療論I ■死生学	■公衆衛生学 ■障害者福祉論	■救急法I（BLS） ■救急法II ■チーム医療論II
専門分野 作業療法士に必要となる疾患ごとの専門的知識と実践技術を学ぶことで、対象者を中心としたチーム医療の実践ができる能力を身に付ける学びの分野です。	■作業療法概論 ■作業療法入門 ■基礎作業学実習	■作業療法研究法 ■作業療法ゼミナールI ■身体機能評価学 ■身体機能評価学実習 ■精神機能評価学 ■精神機能評価学演習 ■発達機能評価学実習 ■作業療法治療学総論 ■物理療法学 ■集団活動演習 ■スポーツリハビリテーション概論 ■地域リハビリテーション原論	■作業療法ゼミナールII ■作業療法ゼミナールIII ■日常生活技術学実習 ■高次脳機能障害学 ■福祉用具学実習 ■神経系障害治療学 ■神経系障害治療学実習 ■運動器系障害治療学 ■運動器系障害治療学実習 ■精神障害治療学 ■精神障害治療学実習 ■老年期障害治療学演習 ■発達障害治療学 ■発達障害治療学演習 ■作業療法義肢装具学実習 ■職業リハビリテーション論 ■パラスポーツリハビリテーション学 ■作業療法学総合演習（OSCE） ■海外地域リハビリテーション実習 ■社会活動演習 ■地域作業療法学 ■地域リハビリテーション研究	■作業療法学特別演習 ■リハビリテーション支援工学 ■作業療法管理学
臨床実習 作業療法士になるための自覚を持つとともに、臨床現場の指導者から直接指導を受けて実践力を養う学びです。	■臨地見学実習I	■臨地見学実習II	■臨床評価実習	■総合臨床実習 ■地域リハビリテーション実習

→ ［卒業］国家試験受験資格取得／学士 ▼ 国家試験受験 → 作業療法士資格取得

上記カリキュラムは「2026年度入学生」の内容であり、科目名等が変更になる場合があります。